



免責事項

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。

これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

決算期変更について

■ 2006年より決算期変更

- 3月20日 → **12月31日**
 - 2006年12月期は変則の約9ヵ月決算
 - 堀場製作所
 - 堀場アドバンスドテクノ
 - 堀場エステック
 - その他グループ会社(40社)
- **9ヵ月+11日決算**
- **9ヵ月決算**
- **変更なし(12ヵ月決算)**

Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

説明内容

- 中間決算サマリー
- 業績通期計画
- セグメント別詳細説明
- 経営上の取組事項
- 中長期経営計画概要/進捗状況

Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

2007年12月期 中間連結決算概要

中長期経営計画2年目も順調なスタート
事業間の損益バランス改善、自動車ビジネス偏重からの脱却推進

P/L

売上高、営業・経常・中間純利益過去最高額を計上
営業利益率向上(10.0%→11.5%)

特別損失18億円計上

営業利益 + 30%

半導体システム、分析システム好調

B/S

総資産増加(前期末比82億円)
ROA(中間) 4.8%→5.9%

業績拡大で資産増
資産効率改善

効率経営・バランスシート健全化推進

C/F

業績好調により営業CF +55億円計上
投資活発化で投資CF ▲53億円計上

情報システム投資

営業CFを将来に向けた積極投資に活用

Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

2007年12月期中間連結業績

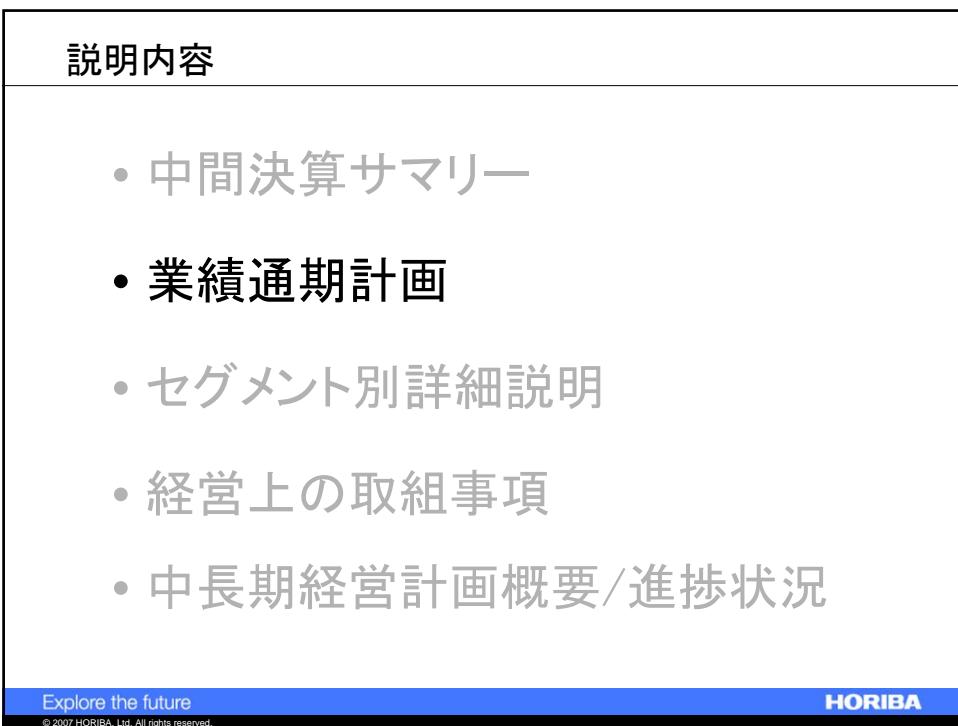
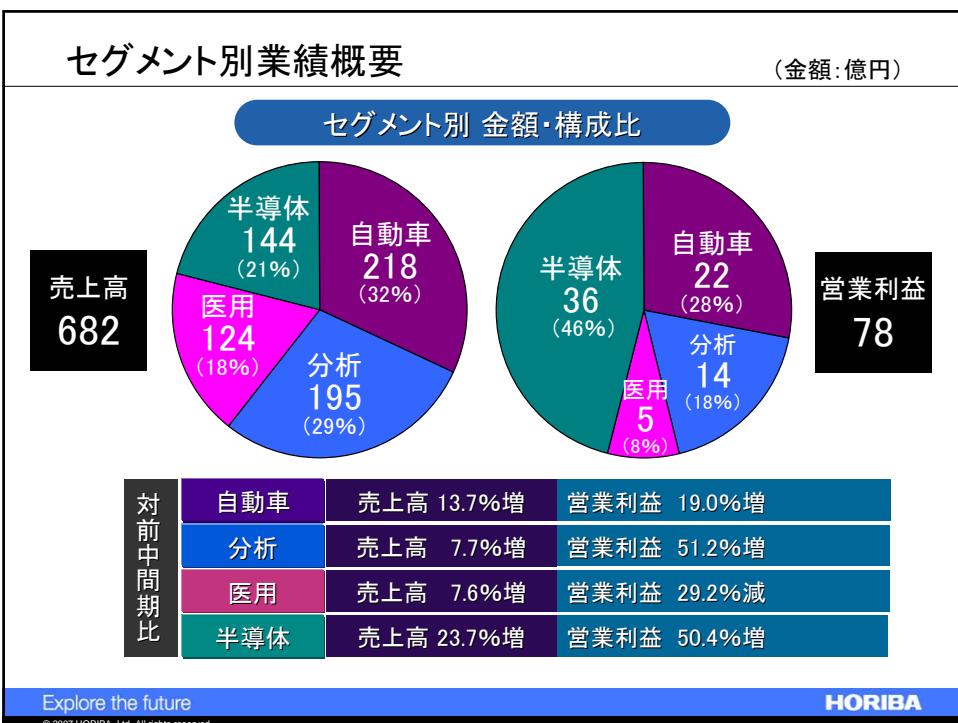
(金額: 億円)

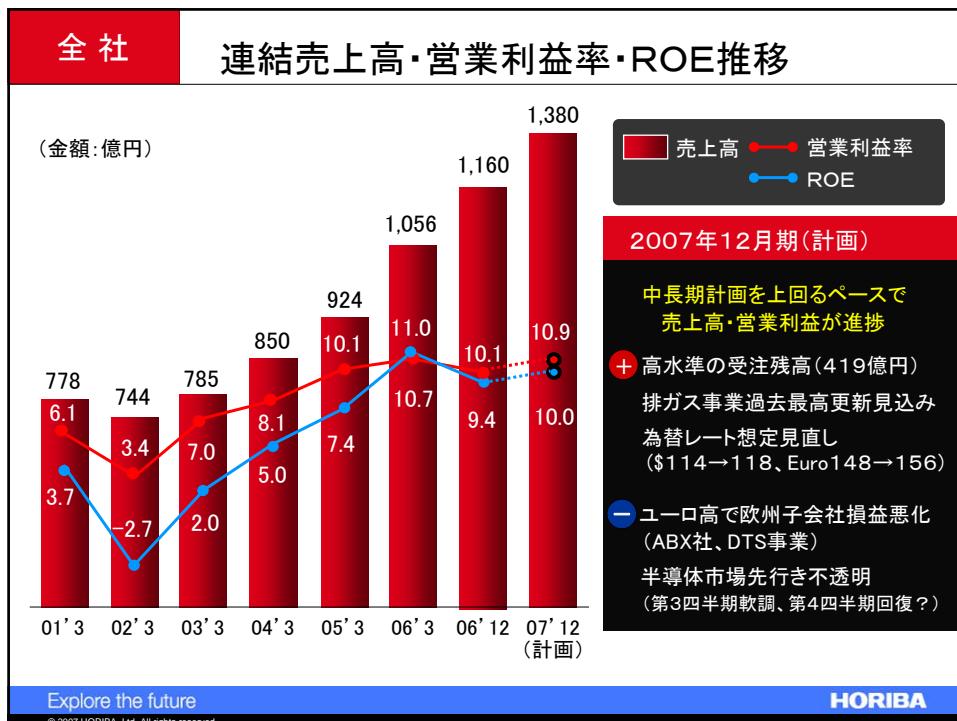
	06年12月期中間		07年12月期中間		従来予想	
	実績		実績	前年中間期比	5/14時点	2/21時点
売上高	606		682	+76 (+12.7%)	655	630
営業利益	60		78	+18 (+30.0%)	73	63
営業利益率	10.0%		11.5%	+1.5P	11.1%	10.0%
経常利益	57		78	+20 (+35.5%)	70	60
当期利益	32		33	+0 (+1.5%)	33	26
ROE(参考)	4.9%		4.5%	▲0.4P	—	—

Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA





2007年12月期 連結業績通期計画 (金額: 億円)

	2006年12月期	2007年12月期(計画)		従来予想	
	実績	修正計画	前期比増減	5/14時点	2/21時点
売上高	1,160	1,380	+219 (+18.9%)	1,325	1,300
営業利益	117	150	+32 (+28.1%)	140	130
営業利益率	10.1%	10.9%	0.8P	10.6%	10.0%
経常利益	107	147	+39 (+36.5%)	134	124
当期利益	65	76	+10 (16.7%)	74	67
ROE	9.4%	10.0%	0.8P	9.8%	9.0%
為替レート	2007年想定為替レート US\$=118円 EUR=156円 2006年度実績 US\$=116円 EUR=146円 円安の影響 → 1円につき、ドル 7,000万円、ユーロ 3,300万円 営業増益				

Explore the future HORIBA

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

2007年12月期セグメント別業績予想				
	売上高	前期比	営業利益	前期比
自動車	470(430)	+23.9%	50(45)	+35.9%
分析	385(375)	+9.8%	29(29)	+8.7%
医用	250(250)	+8.7%	14(14)	▲0.3%
半導体	275(270)	+36.7%	57(52)	+44.1%
合計	1,380 (1,325)	+18.9%	150(140)	+28.1%

()内数値は、5/14時点予想

Explore the future

HORIBA

説明内容

- 中間決算サマリー
- 業績通期計画
- セグメント別詳細説明
- 経営上の取組事項
- 中長期経営計画概要/進捗状況

Explore the future

HORIBA

全社事業戦略

4つのセグメントをバランスよく成長させる

全社ベースの業績振れ幅を抑え、経営を安定化

セグメント間のスムースなリソース移動が可能

効率経営を推進

トータルソリューション提供により収益性を高める

単なる分析・計測にとどまらず、システム全体の制御を含む、より付加価値の高いサービスを提供

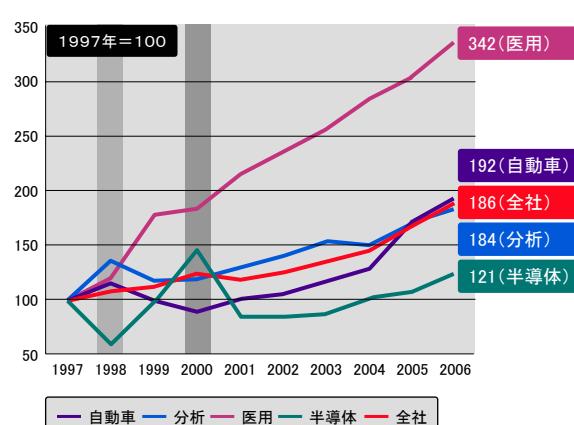
Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

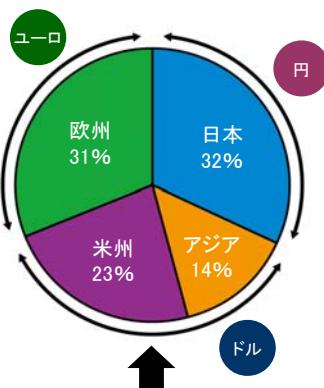
HORIBA

バランス経営～事業・エリア分散によるリスク回避～

セグメント別売上高(10年推移)



地域別売上高比率(2006年12月期実績)

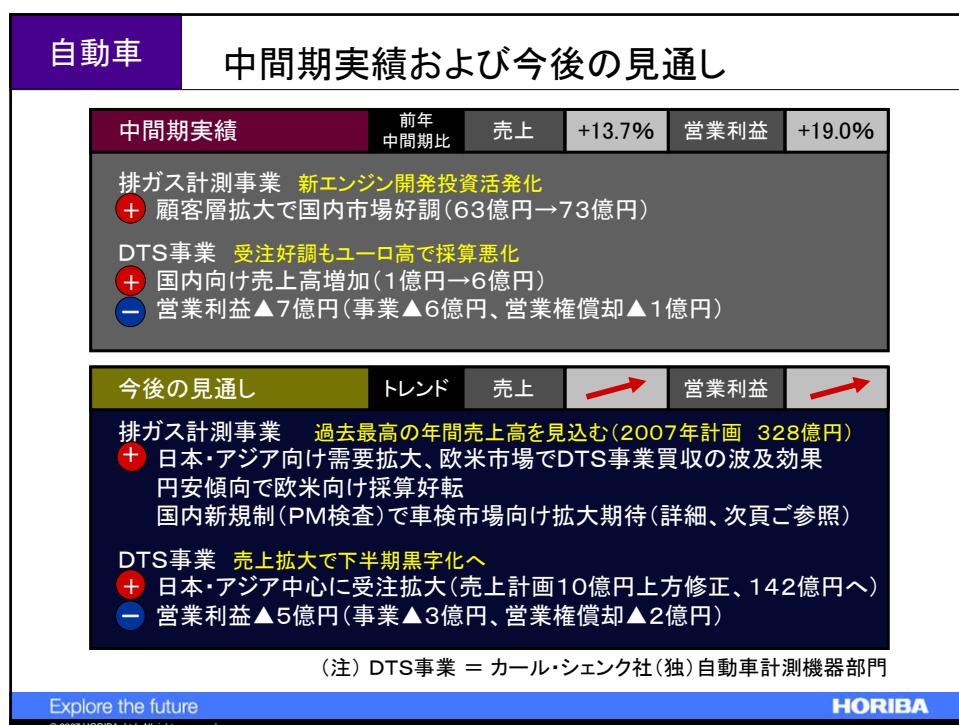
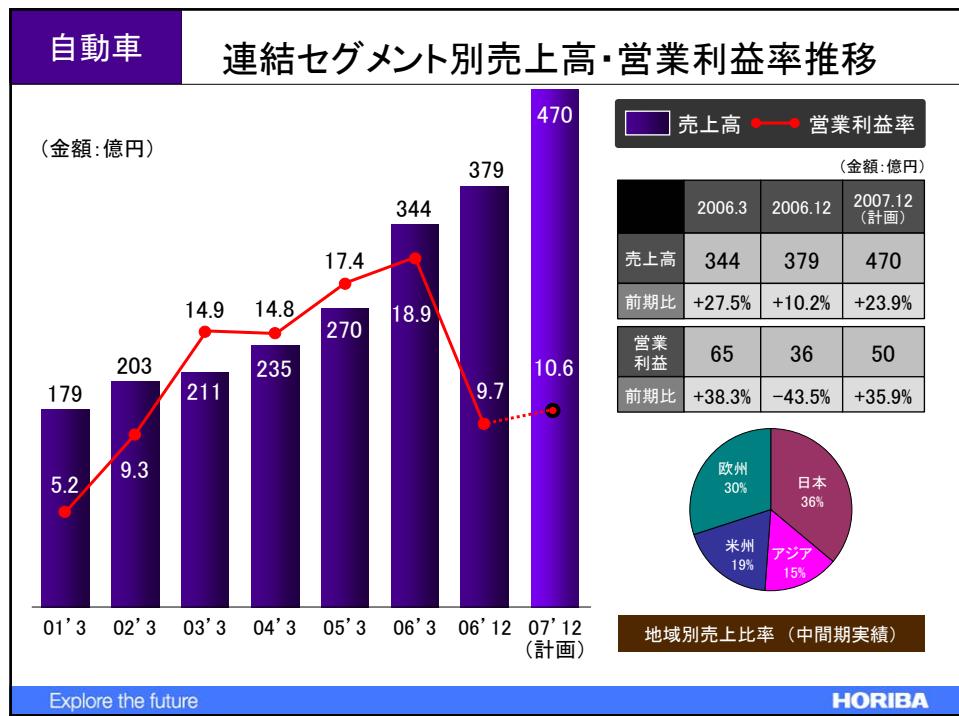


カントリーリスク／為替リスクを分散

Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA



自動車

車検対応PM(粒子状物質)新規制の概要

規制変更の背景・概要

- 排ガス規制強化に伴い、PMの排出レベルが低下
- 従来の光反射式(黒煙測定器)では測定精度に限界
- 光透過式(オパシメータ)へ測定方法変更



2007年9月新規制スタート

※ 2010年まで経過措置で
光反射式使用可

車検排ガス市場でシェア50%を持つ当社にとって大きなビジネスチャンス

■ 想定市場規模 : 100億円 (需要ピーク 2008年~2010年)

■ 目標シェア : 50% (ピーク時年間売上見込、10~20億円)

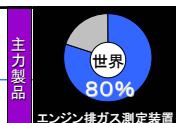
Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

自動車

排ガス計測とDTS事業のシナジー



強力なブランド力とグローバル展開力を活用し、自動車エンジン／完成車における総合計測システムプロバイダとしてグローバルNo.1をめざす

市場規模 (億円)	テスト領域	HORIBA	DTS	統合後
400	排ガス			
1000	エンジン性能			
300	駆動系			
200	車体			
10	風洞実験			
50	ブレーキ			

現状の取り組み実績／計画

- 日本市場で活発な引き合い、受注実績
- 米国・南米(日系)でトータルシステム納入
- 今秋、京都に新エンジンテストセルを設置

自動車産業のトレンドに確実に対応

- 燃料の多様化(ディーゼル／バイオ燃料)
- 生産・開発拠点の分散(BRICs)
- 新車／新エンジン開発期間の短縮
- 開発実験の省力化／無人化 etc.

2010年世界市場規模 2,000億円 ~ 目標シェア25%

※事業対象市場合計:当社推計

Explore the future

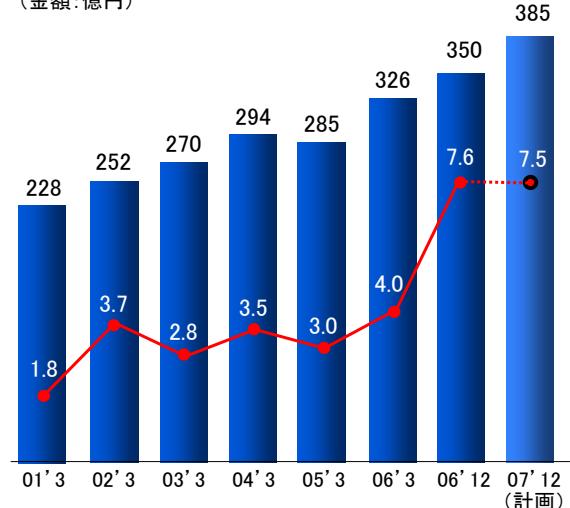
© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

分析

連結セグメント別売上高・営業利益率推移

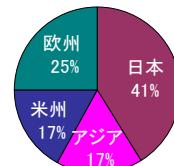
(金額: 億円)



■ 売上高 ● 営業利益率

(金額: 億円)

	2006.3	2006.12	2007.12 (計画)
売上高	326	350	385
前期比	+14.6%	+7.3%	+9.8%
営業利益	13	26	29
前期比	+53.4%	+101.8%	+8.7%



地域別売上比率 (中間期実績)

Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

分析

中間期実績および今後の見通し

中間期実績

前年
中間期比

売上

+7.7%

営業利益

+51.2%

+ 環境用計測機器、国内を中心に販売拡大 (63億円→73億円)
ホリバ・ジョバイポン社(フランス)業績好調 (61億円→75億円)

- RoHS指令対応用X線分析装置、需要減少 (▲6億円)
北米向けオイル中硫黄分析装置、売上減少 (▲13億円)

今後の見通し

トレンド

売上



営業利益



+ 環境関連計測機器の需要拡大 (大気・水質計測、各種有害物質測定)
世界レベルで地球温暖化、公害、リサイクルなど環境保護対策実施
中国がオリンピックを契機に、環境規制導入・取り締まりを強化

- ヨーロッパによるホリバ・ジョバイポン社(仏)の採算悪化
中国RoHS規制(2007年3月開始)向け需要、スロースタート

Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

分析

分野別事業展開

科学分野

■ ハイエンド市場向け強化(ラマン、粒子径分布、X線分析など)

ナノテク・バイオ市場への積極的な取り組み
(カーボンナノチューブ、有機EL、化合物半導体など)

■ 新製品 X線分析装置～ラインアップ強化で幅広い需要に対応

[最上級機] 高感度(極小部位・微量元素測定)
[RoHS対応専用機] 操作性向上、低価格

「2007分析展」8月29日～31日(幕張メッセ)に出演



科学分野損益 (単位: 億円)			
	06.9 中間	07.6 中間	07.12 通期 計画
売上高	129	123	245
営業利益	6	5	15

環境分野 (世界市場2000億円)

■ 重点戦略① 先進国市場におけるビジネス対象の拡大

環境規制ビジネス
(工場排水等規制対応)

非規制ビジネス
(産業プロセス制御等)



環境分野損益 (単位: 億円)			
	06.9 中間	07.6 中間	07.12 通期 計画
売上高	52	72	140
営業利益	3	9	14

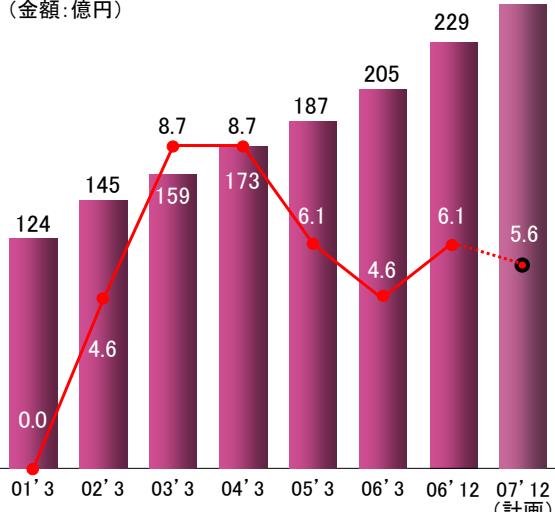
Explore the future

HORIBA

医 用

連結セグメント別売上高・営業利益率推移

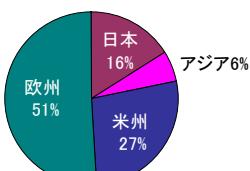
(金額: 億円)



■ 売上高 ●—● 営業利益率

(金額: 億円)

	2006.3	2006.12	2007.12 (計画)
売上高	205	229	250
前期比	+9.2%	+12.1%	+8.7%
営業利益	9	14	14
前期比	-16.8%	+47.4%	-0.3%



Explore the future

HORIBA

医用 中間期実績および今後の見通し

中間期実績	前年 中間期比	売上	+7.6%	営業利益	▲29.2%
-------	------------	----	-------	------	--------

+ 大型血球計数、生化学装置販売拡大(10億円→12億円)
検査試薬販売増加(+11億円) 売上比率上昇(47%→53%)

- 小型血球計数装置 販売伸び悩み
ユーロ高による、ホリバABX社(仏)の採算悪化

今後の見通し トレンド 売上 営業利益

+ 大型血球計数装置、中型生化学分析装置の販売拡大継続
検査試薬販売増による収益向上(売上比率2010年55%メド)
フランス試薬新工場建設、試薬販売増に対応(9月着工)

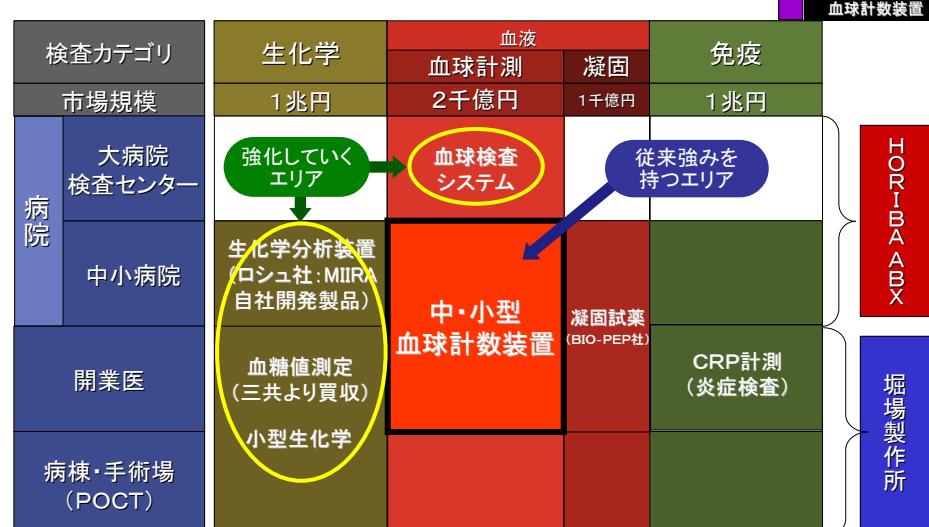
- ユーロ高による、ホリバABX社(仏)の採算悪化

Explore the future

HORIBA

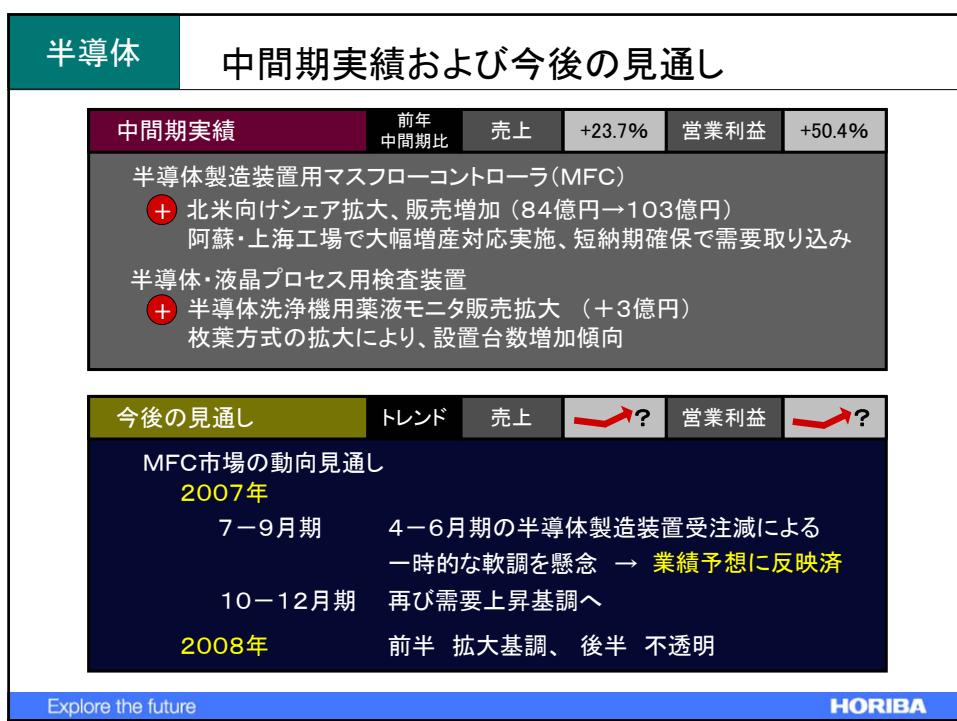
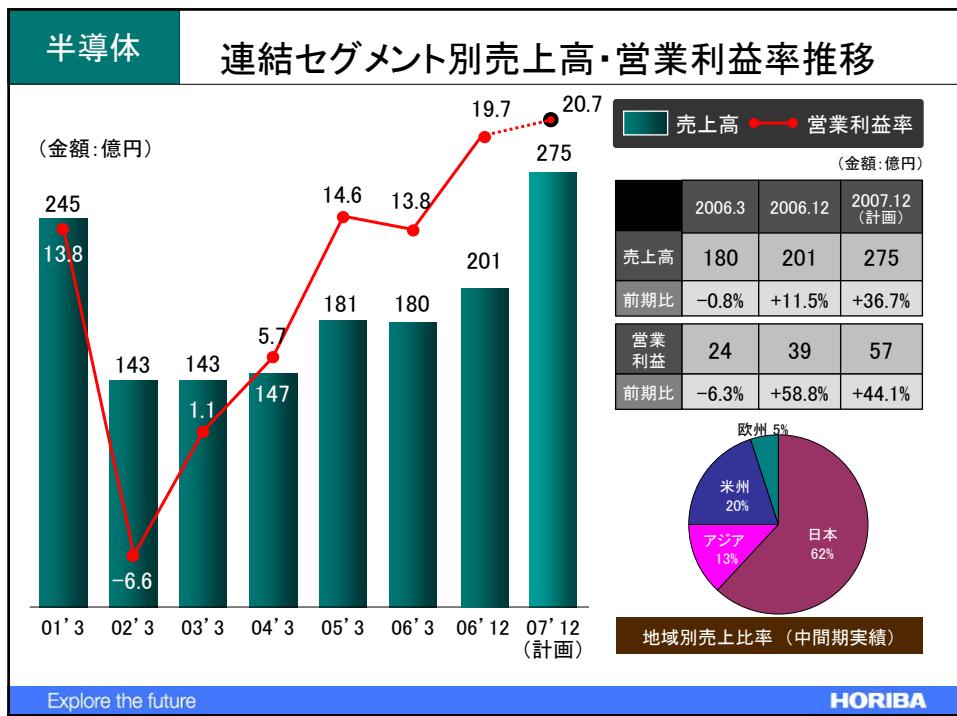
医用

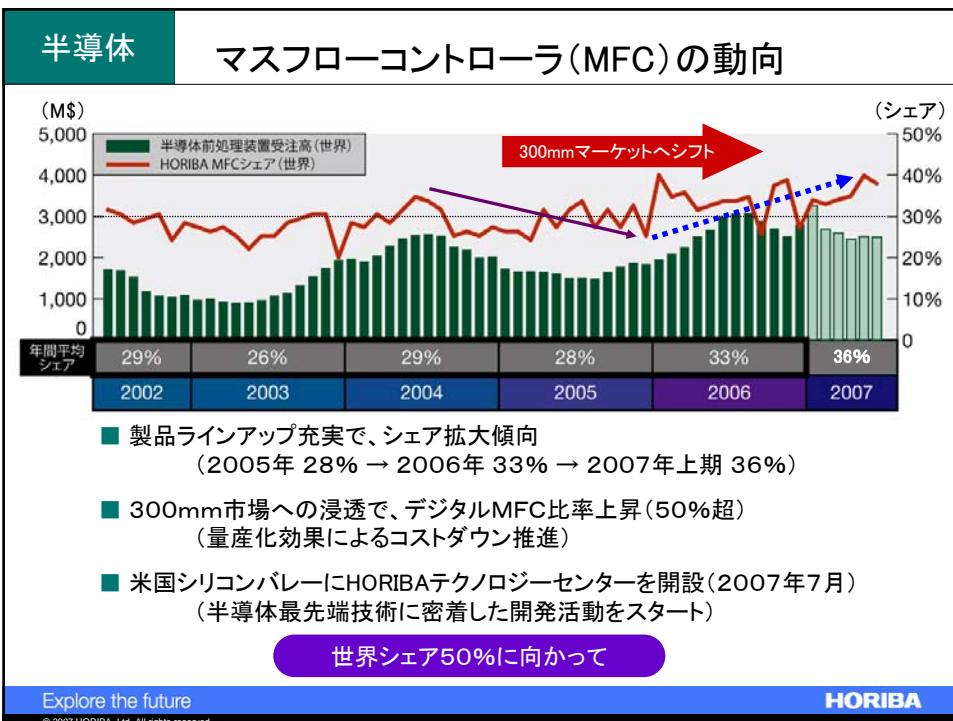
事業展開



Explore the future

HORIBA





説明内容

- 中間決算サマリー
- 業績通期計画
- セグメント別詳細説明
- 経営上の取組み事項
- 中長期経営計画概要/進捗状況

Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

「One Company 経営」の推進

HORIBA GROUP is One Company

HORIBAグループは、統一されたブランドの下、
ビジョン・戦略を共有し、One Companyとして、
グループの企業価値・利益最大化を追求する

<これまでの施策>

- 社名変更・ブランドの統一
- マトリックス経営の導入

Explore the future

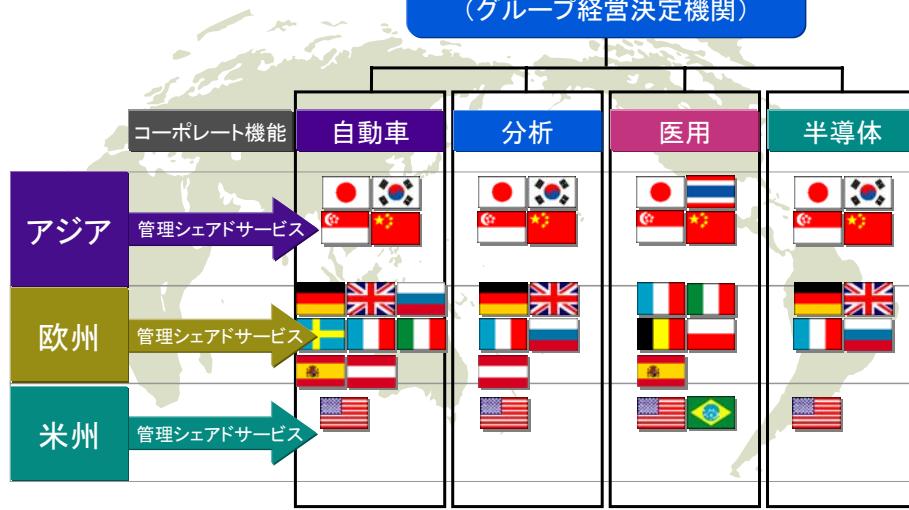
© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

「One Company」マトリックス経営の導入

■ 現在の事業運営体制 ■

エグゼクティブ コミッティ (グループ経営決定機関)



HORIBA

米国戦略プロジェクトをキックオフ

■ 分析・計測機器市場の 40%は米国市場

■ 当社米国向け売上比率20%(今期計画)

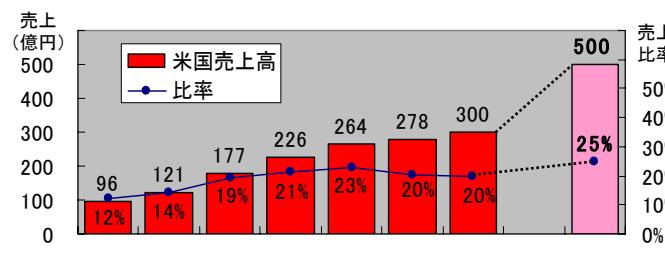
強力な競合は米国企業

Thermo-Fischer, Perkin Elmer, Agilent, Beckman Coulter



地域別市場規模比率

「真のグローバルカンパニー」となるためには、米国市場での事業拡大が不可欠



Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

「One Company」における資本政策

継続的な利益成長とバランスの取れた資本構成で、ROE11%以上をめざす

国内普通社債100億円を発行（2007年7月6日払込）

資金使途

- 50億円 2008年8月期限の社債50億円償還
- 30億円 事業基盤充実のための設備投資
- 20億円 事業拡大に伴う運転資金

利率	: 1.98%
期間	: 7年
償還日	: 2014年7月7日
格付け	: JCR A, R&I A-

ROE／資本コストを意識した経営

配当政策 ~ 基準配当性向制度採用（堀場製作所単体純利益 × 30%）

配当に対する考え方

- 企業の成長にリンクした配当を実施
- 長期的な企業価値向上のための戦略的投資資金（設備投資・M&A等）として、残りを内部留保として確保
- 中期的には資本と投資のバランスを考慮し、最適な配当政策を選択



Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

説明内容

- 中間決算サマリー
- 業績通期計画
- セグメント別詳細説明
- 経営上の取組み事項
- 中長期経営計画概要/進捗状況

Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

中長期経営計画の骨子(2006~2010年度)

「One Company経営を実現し、
眞のグローバルカンパニーをめざす」

- 売上高2,000億円企業に向けた土台作り
- バランスの取れた事業の成長
- 「見えない資産」の価値向上

Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

連結売上高・営業利益率・ROE推移

2010年度 目標数値	売上高	1,500億円 (1,160億円)	営業利益率	10%以上 (10.1%)	ROE(株主資本利益率)	11%以上 (9.4%)
()は2006年12月期実績						

	2006年度実績	2007年度計画	2010年度計画	進捗率
売上高	1,160	1,380	1,500	92.0%
営業利益	117	150	155	96.8%



Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

セグメント別業績目標／2007年計画進捗率（金額:億円）

	売上高	進捗率	営業利益	進捗率
自動車	500(470)	94.0%	65 (50)	76.9%
分析	400(385)	96.2%	22 (29)	131.8%
医用	330(250)	75.8%	33 (14)	42.4%
半導体	270(275)	101.9%	35 (57)	162.9%
合計	1,500 (1,380)	92.0%	155(150)	96.8%

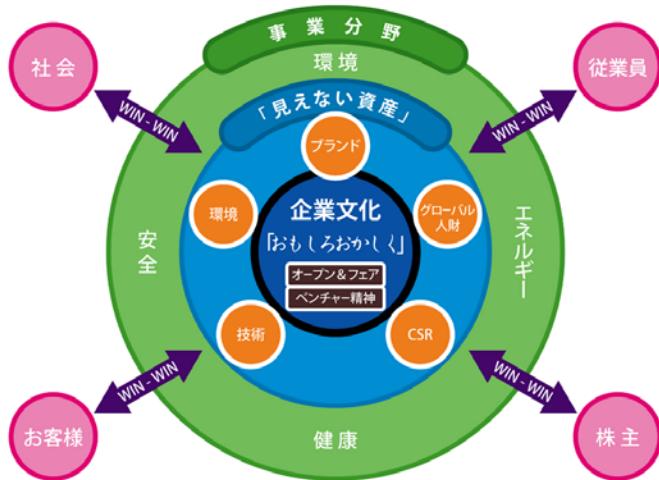
()内は、2007年12月期計画

Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

企業文化を中心に据えた経営の推進



すべてのステークホルダーと“WIN-WIN”的関係を構築することで、持続的な成長と企業価値の創造をめざす

Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA

ご清聴ありがとうございました。



M L M A P
Mid-Long Term Management Plan

2006-2010

Explore the future

© 2007 HORIBA Ltd. All rights reserved.

HORIBA